

日本教育方法学会

第11回大会プログラム

<< 大 会 日 程 >>

第一日 (10月10日)	9:30	課 題 研 究 I		課 題 研 究 II	
	12:10	休 憩			
	1:00	自由研究発表 I		自由研究発表 III	自由研究発表 V
	3:00	休 憩			
	3:10	自由研究発表 II		自由研究発表 IV	自由研究発表 VI
	5:10				
	第二日 (10月11日)	9:30	自由研究発表 VII		自由研究発表 VIII
12:00		総 会			
12:40		休 憩			
1:20		課 題 研 究 III		課 題 研 究 IV	
3:00		休 憩			
3:10		シ ン ポ ジ ウ ム			
5:10					

◎ 受付は、両日とも9:00から行ないます。

会 期： 昭和50年10月10日(金)・11日(土)

会 場： 大阪大学人間科学部

(吹田市字山田小川286-1 TEL 06-877-5111)

10 / 10 (金) 午前

課 題 研 究 I <授業研究における教育工学的アプローチの可能性と限界> (31番教室)

9:30	司会者	愛大	媛阪	大大	学学	堀水	田越	鶴敏	好行
1									
12:10	提案者	大福	岡教	育大	学学	中西	野國	和陸	光市

課 題 研 究 II <現行教育課程の問題点と再編の視点> (41番教室)

9:30	司会者	大宮北文塙東	阪城海	市教道大	立育大	学学学	佐岩鈴寺武川東	藤浅木岡村合	三農秀英重	郎也一男和章洋
12:10	提案者			玉京	大	大				

10/10 (金) 午後

自由研究発表 I (21番教室)

由 研 究 発 表 I (2 1 番 教 室)		司 会 者	聖 母 女 学 院 短 期 大 学 奈 良 女 子 大 学	広 岡 亮 蔵 蜂 屋 慶
1 : 0 0	法 則 を 構 成 す る 概 念 の 形 成 に つ い て — イ メ ー ジ テ ス ト の 結 果 —	横 浜 市 立 十 日 市 場 中 学 校	岡 田 立 昌	美 幸
1 : 3 0	法 則 ・ 概 念 学 習 の 評 価 に つ い て	神 奈 川 大 学	島 田	幸
2 : 0 0	授 業 に お け る 集 団 目 標 と 個 別 目 標 と の 統 一 の た め の 観 点 を め ぐ っ て	信 濃 教 育 会 教 育 研 究 所 信 濃 教 育 会 教 育 研 究 所	加 藤 伸 田 島 薫	

自由研究発表Ⅱ（21番教室）

由研究発表Ⅱ（21番教室）	司会者	埼和	玉光	大	学	川中	合野	章光
3:10	教育における確信と行動の統一にかんする一考察	広島	大	学	大	学	院	折出健二
3:40	しつけの本質と幼児教育の方法としてのしつけの意味について	佐州	大	学	学	院	山田敏	
4:10	特別活動に関する調査研究（中間報告 その2）	国際	基	督	教	大	学	磯田一雄
		東洋	立	葉	大	学	研	西村田内山
		国立	教	育	大	学	研	藤水横
		国立	教	育	大	学	研	水横

自由研究発表表Ⅲ(31番教室)

由 研 究 発 表 Ⅲ (3 1 番 教 室)		司 会 者	九 州 大 学	岩 橋 文 吉
			広 島 大 学	吉 均
1:00	オープンクラスのカリキュラム ——わが国に示唆するものは何か——	東京教育大学大 学院		渡 部 隆
1:30	戦前生活綴方運動に於ける生活認識の教育方法	名古屋大学大 学院		佐 藤 広 和
2:00	解放教育の観点に立った小学校低学年教育の構想	大阪教 育 大 学 大阪教 育 大 学 大阪教 育 大 学 大阪科学教育センター	柳 木 久 雄 山 下 繁 弥 長 根 祥 雄 玉 尾 彰 夫 置 哲 淳	

自由研究発表Ⅳ（31番教室）

	司会者	千葉大学 名古屋大学 名古屋大学大学院 信濃教育会教育研究所 山口大学 名古屋大学大学院	井上弘 日比裕 小島律 近藤久 外山史 森田英 田道雄
3:10	授業におけるズレの諸相		
3:40	授業における教師の自己変革の追究		
4:10	「地域にねざす教育」研究・そのⅢ		

自由研究発表Ⅴ（41番教室）

	司会者	国立教育研究所 島根大学 愛媛県教育センター	木原健太郎 近藤正樹 三好貞義
1:00	教授二学習過程の分析法に関する研究		
1:30	学習指導体制の研究(3) ——教授モデルの分類——	女子美術大学 大阪大学 石川県教育センター	小林洋一郎 水越敏行 吉田貞介
2:00	歴史学習における授業設計と評価		

自由研究発表Ⅵ（41番教室）

	司会者	倉敷市立短期大学 名古屋大学	佐藤正夫 田浦武雄
3:10	教育における受容的構造の転回 ——ジュネーブ学派の研究を手がかりに——	東京教育大学大学院	平山満義
3:40	訓練校におけるカリキュラム改善に関する研究 ——改善カリキュラムによる授業の分析——	職業訓練大学校	田中萬年
4:10	学習指導要領の変化と現実カリキュラムの変化	駒沢大学 習志野第二中学校	岡田真 奥藤恭弥

10/11（土） 午 前

自由研究発表Ⅶ（31番教室）

	司会者	富山大学 福岡教育大学	高野兼吉 霜田一敏
9:30	現今「発見学習」論批判 ——授業論的パースペクティヴにおいて——	東京教育大学大学院	長田勇
10:00	大学における専門科目に機器を利用することの限界	関西学院大学	仲原晶子
10:30	教科教育のあり方 ——特に理科教育の立場から——	和歌山大学	久実
11:00	探究的学習過程のプログラミングに関する実験的研究（その四）	大阪大学 大阪大学 大阪大学	元木健治 藤岡完子 寺西和子

自由研究発表Ⅷ（41番教室）

	司会者	鳥取大学 東京学芸大学	松本正達 小川博久
9:30	教育課程の基本構造化 ——戦後障害児教育における内容編成の理論と実践——	名古屋大学大学院	田中良三
10:00	米国における教育改新運動とその問題点	仁川学院高等学校	角本尚紀
10:30	単元論の本質的性格の検討 ——ヘルバルト派を中心に——	愛知教育大学	安彦忠彦 杉浦美朗
11:00	教育課程再編成の一つの視点	三重大学	

◎ 総会は、51番教室で行ないます。

10 / 11 (土) 午後

課 題 研 究 Ⅲ		<日本における教育方法遺産の再検討>		(3 1 番教室)	
1:20	司会者	女 子 栄 養 大 学	柴 田 義 松		
		神 戸 大 学	杉 山 明 男		
3:00	提案者	北 海 道 教 育 大 学	小 田 切 正		
		国 立 教 育 研 究 所	藤 田 昌 士		
		和 光 大 学	中 野 光		
		大 阪 教 育 大 学	柳 久 雄		

課 題 研 究 Ⅳ		<教員養成大学における教育内容・方法の問題>				(4 1 番教室)	
1:20	司会者	京 都 教 育 大 学	佐 伯 正 一				
/		筑 波 大 学	井 坂 行 男				
	提案者	茨 城 大 学	菊 池 龍 三 郎				
3:00		東 京 学 芸 大 学	金 子 敏				
		広 島 大 学	恒 吉 宏 典				

シンポジウム		<「学力」とは何か>		(51番教室)	
3:10	司会者	元北海道大学	砂沢喜代次		
/		お茶の水女子大学	吉田昇		
5:10	提案者	北海道教育大学	藤岡信勝		
		部落問題研究所	佐古田好一		
		大阪教育大学	木下繁		
		聖母女学院短期大学	広岡亮蔵		

日本教育方法学会機関誌

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1966
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1968
教育方法 3.	授業組織化の原理と方法	1969
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1970
教育方法 5.	教育方法70年代の課題	1972
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1974
教育方法 7.	現代学校教育の再検討	1975

明治図書 / 東京都中央区入船3の3の11

◎ 当日、受付にて販売いたします。